

静岡茶の海外戦略

令和7年1月 静岡県お茶振興課

現状と方針

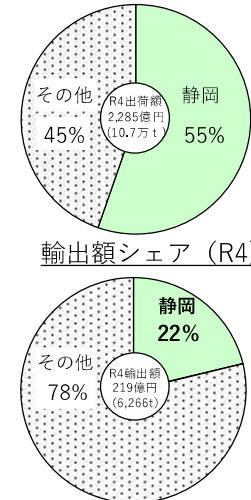
国内市場も含めた81億人の世界市場へ展開（国内外の需要に対応する生産体制を構築）

本県は国内流通量シェアに対して輸出量のシェアは低い

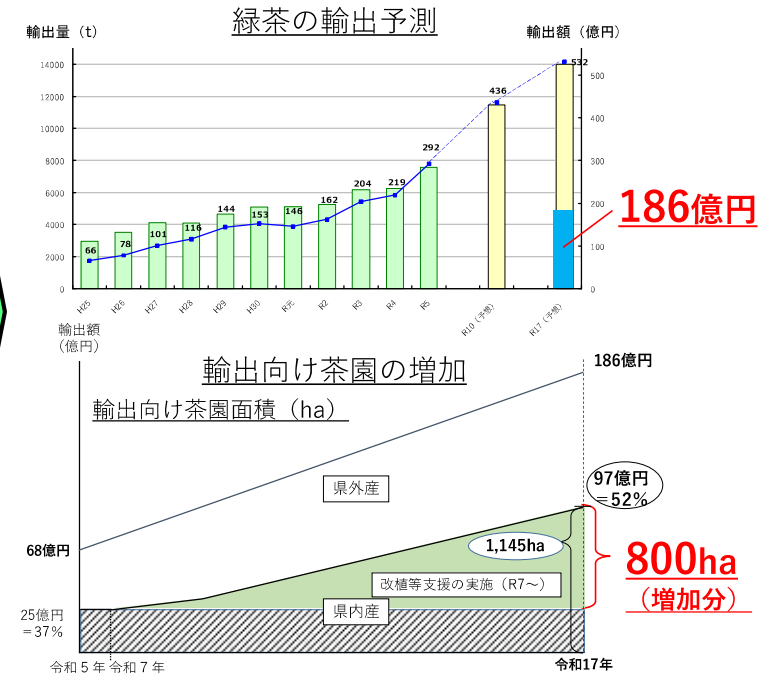
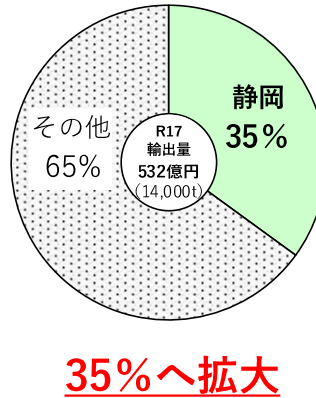
拡大する販路に対して供給力を強化

全国の荒茶の用途別需要量（t）

国内流通額シェア（R4）



輸出額シェア（R17）



対応

静岡茶再生のため、海外需要の拡大を踏まえ、静岡茶統一ブランド策定と輸出向け茶葉の生産基盤強化を両輪で推進

対応1 海外展示会への出展支援

○茶業関係団体による「静岡茶」をPRするための海外展示会出展
2025.2ドイツ・ニュンベルク(3社) 2025.3米国・ラスベガス(10社)



海外で開催される大規模展示会へ団体で出展し、商談成立を目指す

- ・輸出に向けた全県的な取組が開始され、茶業界が活性化
- ・輸出事業者を創出できれば、連携する生産者の経営も安定

対応2 世界に通用する静岡茶ブランド戦略の策定

○静岡茶リ・ブランディングプロジェクトによるブランドの構築



プロジェクト会議

静岡茶ブランドの軸
（基本戦略）

- コンセプト
- 商品・産地
- 流通（マーケット）
- ライフスタイル（楽しい飲み方）

- ・若手茶業者を中心としたプロジェクトメンバーにより策定

対応3 輸出用茶葉生産拡大のための品種転換支援

○輸出向け品種転換(改植)等による生産体制強化支援



- ・「やぶきた」から「つゆひかり」等への改植
- ・品質向上のための被覆栽培

○輸出向け生産構造転換整備支援



- ・てん茶ライン等導入支援
- ・契約栽培の推進

- ・輸出需要に応じた生産基盤の強化

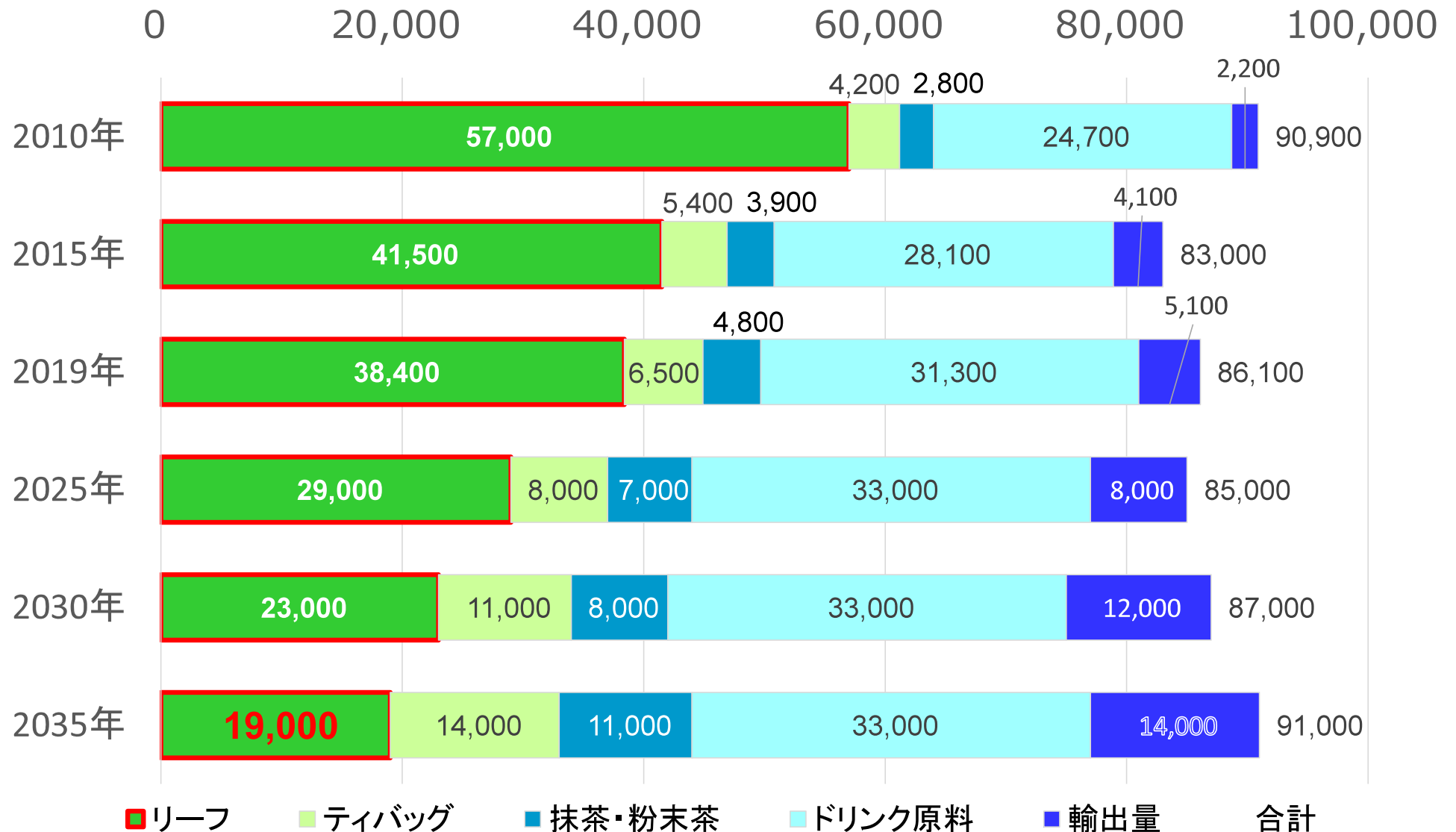
一世帯当たりの緑茶・茶飲料の購入額の推移



資料:総務省家計調査

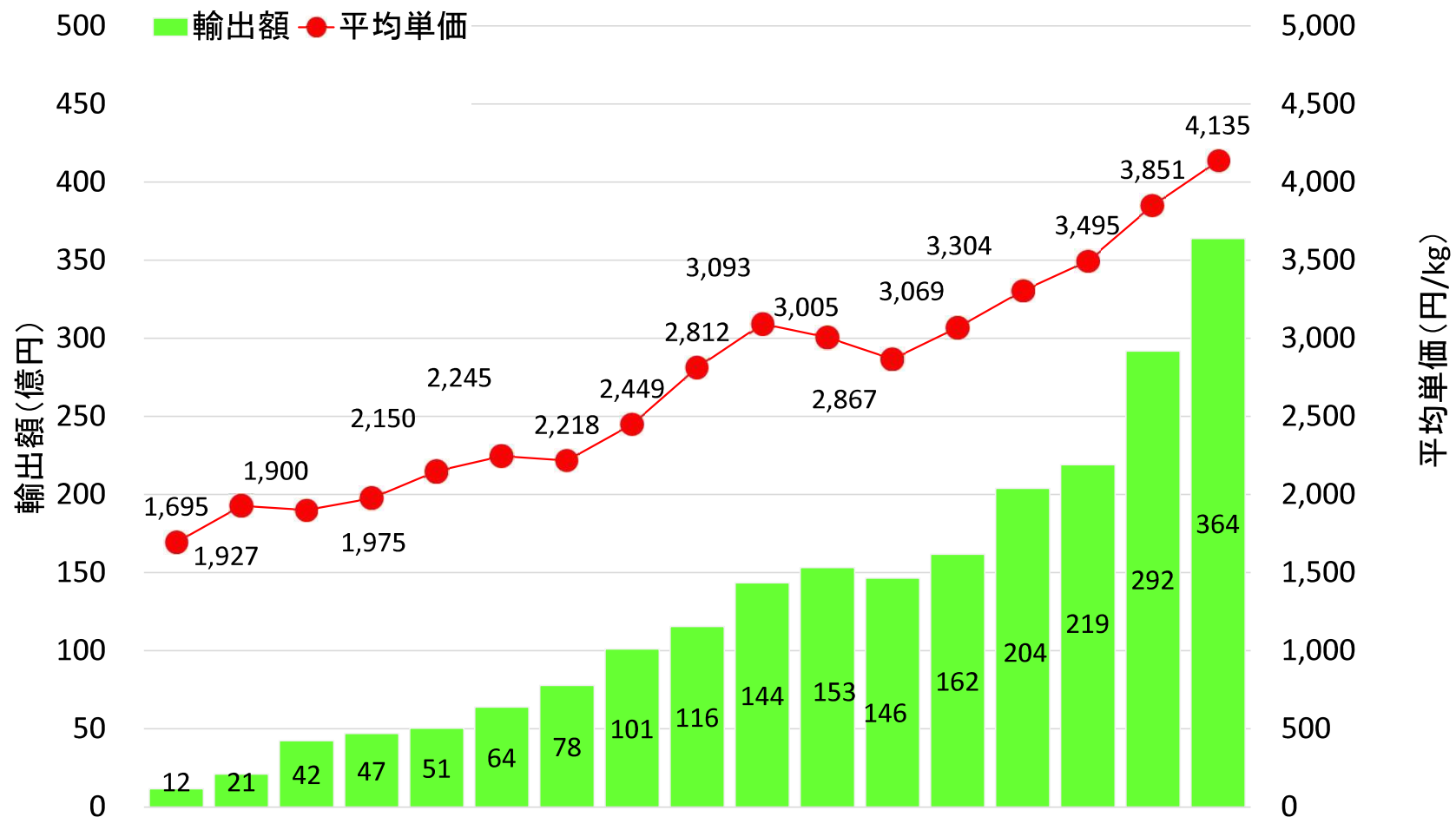
全国の荒茶形態別需要量の予測

荒茶の形態別需要量(t) ※推定・予測値



緑茶の輸出額と輸出価格の推移

- 日本の緑茶輸出額は364億円（R6）に増加、米、EUから周辺に販路拡大
- 世界で抹茶が不足し、緑茶の輸出平均価格はここ数年上昇傾向で4,135円



国内の煎茶需要が減少、世界では抹茶が定着

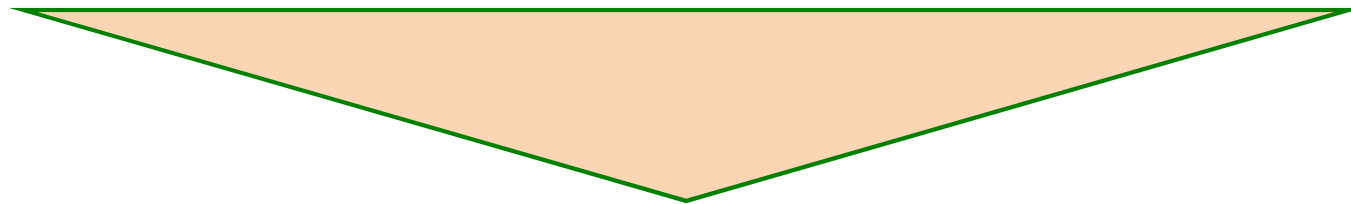
需要、市場が変化

急須のお茶から **ドリンク茶へ**

国内煎茶市場から世界抹茶市場へ

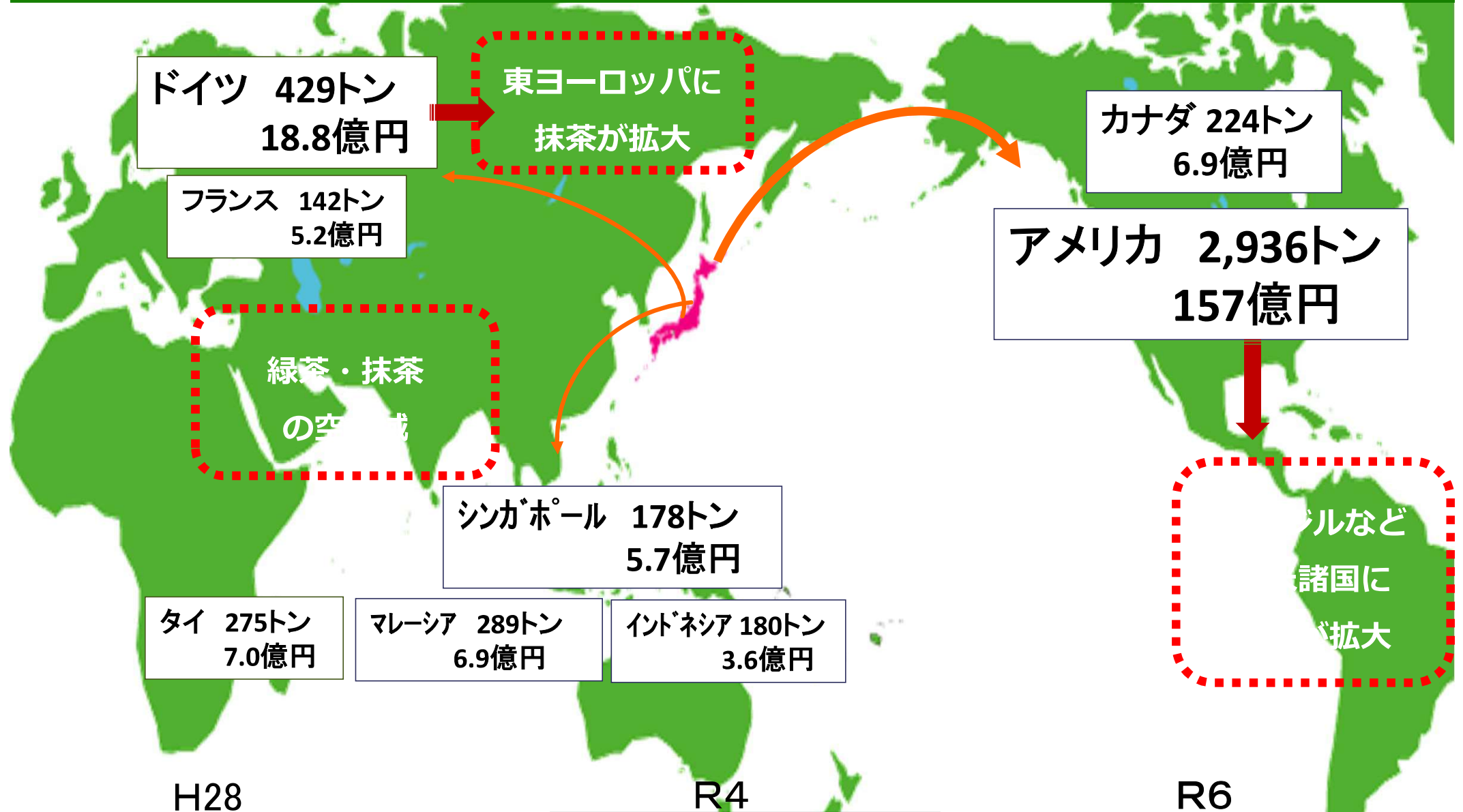
消費者がお茶に求めるもの

うま味 から 色・香り？ へ

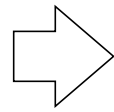


需要に応じた生産構造への転換をさらに強化

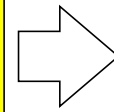
今後も輸出拡大が続く



輸出量 4,108トン
輸出額 116億円



輸出量 6,266トン
輸出額 219億円



輸出量 8,798トン
輸出額 364億円

需要がある有機栽培、てん茶栽培への転換

- 自園の半分を有機てん茶栽培に転換していくと、
5年後の所得は2.2倍に

煎茶の生葉売り反収
てん茶生葉出荷反収

163千円/10a
550千円/10a

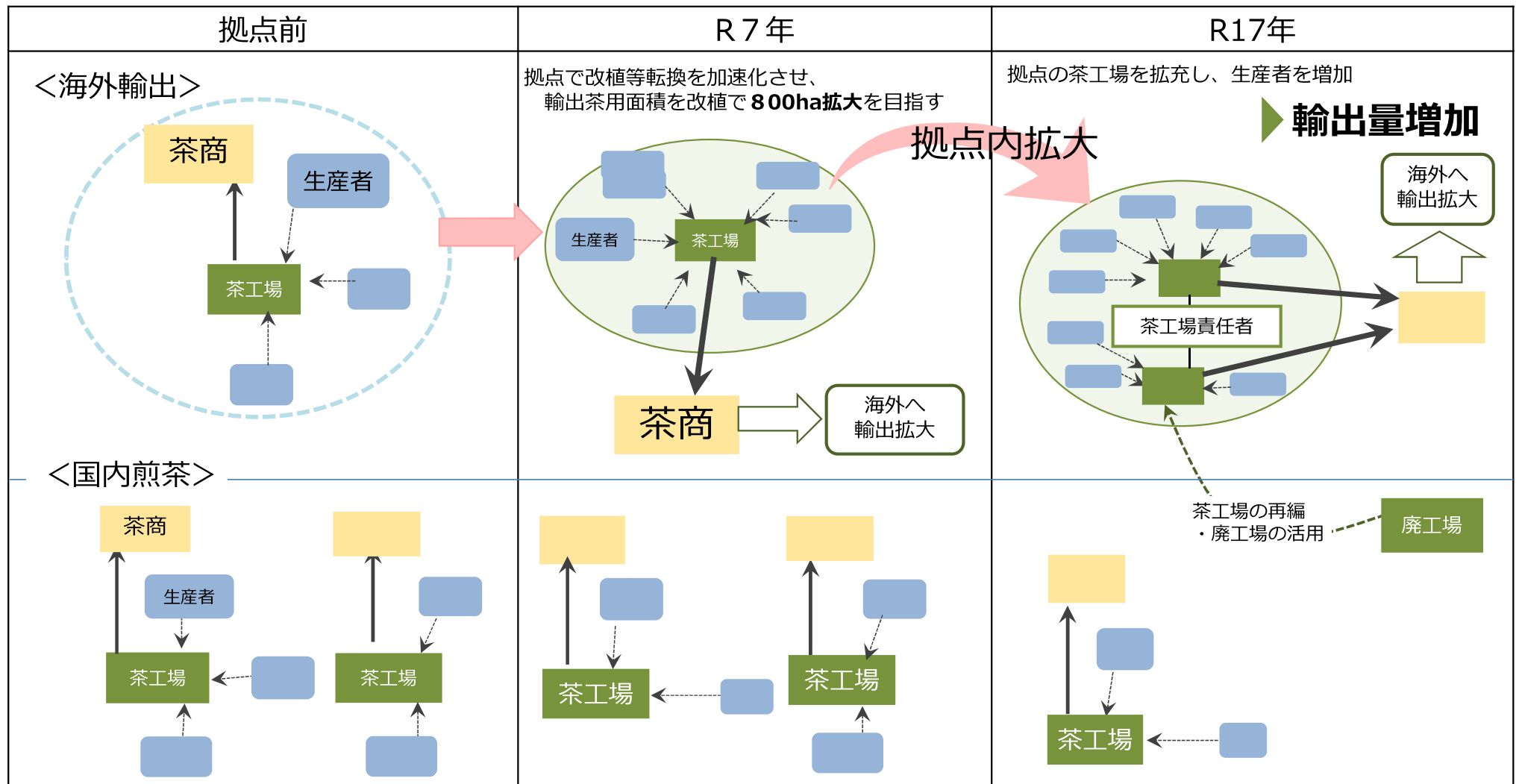
区分		現状	令和12年
面積	煎茶	2 ha	1 ha
	てん茶 (⇒拠点面積)	0 ha	1 ha
所得		3, 260千円	7, 130千円



※煎茶の生葉反収: 1, 630千円/1ha、てん茶の反収: 550千円/1ha (県茶業研究センター)

輸出生産拠点・拠点化計画

- 茶商と連携して輸出や有機栽培、てん茶生産に取り組む荒茶工場を拠点茶工場に位置づけ
- 拠点化計画に参画する生産者が経営の一部をてん茶や有機茶生産に転換
(拠点茶工場に出荷または委託加工)
- 拠点化計画への参画者が増大することにより、拠点茶工場の拡充、拡大（煎茶荒茶工場を再編）



【目的】

海外で高まる茶の需要に応じて静岡茶の輸出拡大を図るため、海外販路の拡大に取り組む事業者及び輸出に向け輸出生産拠点化に取り組む生産者等に対し、各事業を支援することで海外販路の拡大や輸出向け生産体制強化を図る。

【事業目標】

■農業産出額 1,877億円(2022年)⇒2,400億円(2026年)

■輸出茶園面積 2035年までに**800ha増加**

※輸出茶園面積とは、輸出に適した品種への改植面積及びてん茶生産に必要な被覆栽培面積をいう。

【事業の内容】

海外販路開拓支援事業

海外展示会への静岡茶ブース出展支援

10,000千円

- ・補助率:1/2以内
- ・上限:10,000千円
- ・対象:茶業関係団体等2者以上によるコンソーシアム



海外で開催される大規模展示会へ団体で出展し、商談成立を目指す

輸出拡大生産転換設備等導入事業

輸出向け生産構造転換のための機械等の整備支援

60,000千円

- 円
- ・補助率:1/2以内
- ・上限:15,000千円
- ・対象:輸出拠点化に取り組む生産者グループ等
- ・要件:拠点化計画を作成した茶工場又は参画した生産者



簡易てん茶炉



茶園クリーナー

輸出拡大生産体制強化支援事業

品種転換等による輸出向け生産体制強化支援

150,000千円

- ・補助額:改植経費 :152千円/10a 以内
- 植栽初期管理費 :141千円/10a 以内
- 被覆資材費 :100千円/10a 以内
- ・対象:輸出拠点化に取り組む生産者グループ等
- ・要件:拠点化計画を作成した茶工場又は参画した生産者



「やぶきた」から有機茶・てん茶栽培に適した品種への改植の推進



てん茶栽培への転換

輸出需要に対応した生産への転換を支援

- 「つゆひかり」や「しずゆたか」等への改植を支援
- 改植費用、植栽初期管理費（未収益期間）と被覆資材購入費

海外戦略展開支援事業 （R7年度新規事業）

国改植事業

+ 県単補助
（国と同額以内）

改植	152千円/10a以内
初期管理費	141千円/10a以内
被覆資材	100千円/10a以内